

# 平成27年度 学校自己評価システムシート ( 県立草加南高等学校 )

目指す学校像 (教育方針)	困難に挑戦する強い心と豊かな人間性を育み、社会に貢献する人材を育成する
重点目標 (努力点)	1 授業の工夫・改善を進め、生徒の学習習慣を確立し、学力の向上を目指す。 2 生徒一人一人に応じた進路指導の充実により挑戦する意識を育て、それぞれの自己実現を伸長する。 3 国際理解教育を中心に、本校の教育活動を広く広報するとともに、地域への貢献を深め開かれた学校づくりを推進する。 4 きめ細かい生徒指導を図り、自他を大切にすることを育むとともに部活動等の活性化に努める。

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	8名
	生徒	3名
	事務局(教職員)	10名

※重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。  
 ※番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学校自己評価					年度評価(2月1日現在)	
年度目標					達成度	
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	次年度への課題と改善策
1	生徒は真面目に授業に取り組んでいる。さらに様々な角度から生徒の知的好奇心を高め、学力の向上に向けて授業等の工夫・改善を進める。	授業改善による学力向上を進める。	① 授業観察、授業相互見学、年次研修での研究授業の活用により、授業力向上の取組みを進める。 ② 全学年で英語・多読指導を行う。	① 授業相互見学、新しい授業法の導入 成績優秀者数 ② 模試による英語力の向上	① 授業相互見学週間 2回 ITを活用した授業の実施 成績優秀者数(2学期) (前年比 18.0%増) ② 模試による英語の平均偏差値 (昨年比1.6%増)	B
		家庭学習や朝学習で自主学習の時間を増やす。	③ 朝学習、週末課題、補習等により学習時間を確保する。 ④ 1,2年生にSS(Self study)シートを用い日々の自主学習を評価。	③④自主学習時間増減 (12月アンケート)	③ 自主学習 予習・復習をしていない生徒 (昨年比1.1%減)	B
2	大学、専門学校等で9割以上の生徒が進学志向であるが、AOや推薦入試等の安全志向である。	生徒が自分の進路を積極的に決定できる基礎学力をつける。	① スタディサポート・模擬試験結果を活用し学力の変化と進路実現意欲を高める。 ② 卒業生や外国大使館の外部講師による講演会、ガイダンス等を通して『志』教育を進める。 ③ NPOカタリバを活用。	① 生徒アンケート ② 模擬試験等への取組状況 ③ NPOカタリバによる生徒との話し合い	① 進路意識 高い目標を持っている生徒 (全体 58.9%) ② 模試の取組状況 1年:3回 2年:4回 3年:18回 ③ NPOカタリバを活用した取組 2年生で実施(1月)	B
	生徒に高い進路意識を持たせ、第一志望実現のために、計画的かつきめ細かい進路指導を推進する。	学力をつけ、第一志望に挑戦する生徒を増やす。 (センター試験出願者 140名以上)	④ 進学補習・受験サプリ・放課後自習室、模試の活用により進路実現への学力をつける。 ⑤ 勉強マラソンや勉強合宿の参加を広げ、切磋琢磨による学びを奨励する。	④⑤進路決定者数の増加 一般入試志願者数	④⑤ 一般入試志願者数 92名(昨年比17.9%増) センター試験受験者 108名(昨年比11.3%増)	A
3	外国語科の特色を活かし、様々な視点から国際理解教育を推進している。この特色をはじめ、本校教育活動を広く地域に広報し、地域社会との連携と貢献活動を進める。また、より戦略的な生徒募集を展開する。	国際理解教育活動の推進と地域への貢献を促進する。 生徒募集に向けた広報方法を工夫する。	① 本校の国際理解教育活動を広く広報する。海外語学研修・交換留学生の受入れ、外国大使館員との交流等を通じて、生徒の異文化理解を深める。 ② 地元小中学校への出前授業、生徒による授業補助、生徒会や部活動による各ボランティア活動を進め、連携を深める。 ③ HP、ちらし、学校紹介映像を活用する。	①②各種事業への参加状況 参加生徒の満足度 募金活動や地元福祉施設等での校外活動。 ③ HPの閲覧数、学校説明会参加者数	① 海外研修(参加者 29名) 英語力が向上したと回答した生徒 29名(全体の100%) ② 校外活動 地元小中学校への出前授業(年6回) 生徒による授業補助(年3回) ③ HPの閲覧数 18万3千件 学校説明会参加者数 31.1%増	A
4	部活動や生徒会活動、学校行事に熱心に取り組む生徒が増えている。全力で取り組む草南生を育て、より良い校風を育む。	自他を大切に指導(いじめ、ネット、薬物乱用防止)を徹底する。 学校行事への全生徒の参加と高い満足度を達成する。	① 挨拶励行。 ② 8時40分チャイム始業を徹底。 ③ 自転車乗車マナーの徹底。 ④ 心の悩みや困難を抱える生徒に対し、特別支援教育の手法に学ぶ研修会の実施。	①②遅刻欠席者数の減少 (昨年度比) ③ 登下校時の自転車事故件数の減少 ④ 特別支援教育の手法に学ぶ校内研修会	①②欠席数 延1,511名(12月末) (昨年比 8.1%増) 遅刻者数 延1,128名(12月末) (昨年比 11.0%減) ③ 自転車事故件数 4件 (昨年比76.5%減) ④ 特別支援教育校内研修会(1月)	A
		部活動の加入率90%以上。	⑤ 部活動、生徒会活動、学校行事で生徒を中心とした企画運営を進める。	⑤ 部活動加入率(90%以上) 行事への取組み状況	⑤ 部活動加入率 86%(5月) 学校行事へ積極的に参加している生徒(全体の82.1%)	B

学校関係者評価	
実施日	平成28年 2月17日
学校関係者からの意見・要望・評価等	
<p>朝学習の徹底ができていないのではないか。自分の子供も1年生に比べて家を出るのが遅くなっている。親が子供を送り出すということが大切だと思う。3年生は1年生から朝学習を実施し、朝の10分間が実って今年の実績となっている。引き続きこれからも取り組んでほしい。</p> <p>学校という組織体の到達目標も大事であるが、個をどう育てていくかが重要である。しっかりと取り組んでおり成果も上がっているようだが、負担が大き過ぎて心配な面がある。</p>	
<p>受験については、自分から質問に行くのが難しい生徒もいる。教員に聞かなければわからない情報もあるので、教員側から歩み寄って情報提供を上手にやっていただきたい。</p> <p>受験サプリは、もっと生徒が活用するよう宣伝したほうが良い。自分自身でも、受験サプリがどういうものか見てみたいと思う。</p> <p>入試の面接をしていると同じ回答をしてくるものが多く、よく指導されていると感じる反面、過剰な指導ではないかと感じる面もある。将来の自立に向けて、対応の方法を変えていくべきである。</p>	
<p>外国語科が草加南高校の特色の一つである。草加南高校の外国語科に進むと、こんなところに就職ができるとか、こんな学校に入れるというものがあると希望者も増えると思う。</p> <p>外国語だけやっつけてもそれだけではしょうがない。外国語の先にあるものが何かということを高校の段階から推し進めていくと、特色が出てくると思う。</p>	
<p>体育祭などの学校行事も盛り上がり、生徒のマナーもよいと思う。今後も中学生の模範になってほしい。</p> <p>生徒会にボランティア班ができたということなので、地元のお祭りやイベントにも参加してほしい。</p> <p>保健室の利用者数が多いということであるが、怪我等での利用者数は少ないほうが良いが、メンタル面で利用している生徒については大事にしてほしい。大学でも精神的に問題を抱えている学生が増えている。</p>	

